

# らかん茫々



## 北条石仏

北条石仏は、謎に満ちた群像です。いつ、だれが、  
なんのために作ったのか、いっさい判っていません。  
素朴な彫りの、素心に佇む、三百八十余体。哀しいと  
も淋しいともつかぬ、いわく言い難い表情は、訪れる  
ひとの心に静かに沁みていきます。



## 草画

若い頃には竹ペンで、そのうち筆硯紙墨を揃えて、  
石の仏たちがきままに放浪する「ふうらかん」の世界  
を描くようになりました。

郷里に戻って懐かしい石仏たちと再会してからは、  
風化剥落してゆく彼らの表情をなるたけ記録しておこ  
うと、写真に収めてきました。そんなある日、土筆を  
文字通り筆にして、らかんたちを描いたのが草画の始  
まり。以来四季折々の草木を筆に葉書に描き続けて、  
この春五千枚に達しました。



## 泉井小太郎

兵庫県加西市生まれ。

少年時代になんともなくらかんたちに惹かれる。

郷里を離れてから、北条石仏をルーツとする「風羅漢  
(ふうらかん)」を絵や陶像で製作、各地で展覧会。

1996年からはインターネットにウェブ美術館、電子図  
書室を開いたり、電子書籍を製作したりしている。

六角文庫主宰。

著書：詩集「孤島」「ピアニッシモ」

「北条石仏 一謎が立っている」「旅人ふうら」他

